

『望月かね様 大往生』

98 才の時、病院から今月一杯くらいだと宣告され、点滴で老人病院へ転院されましたが、本人は「口から食べたい」という意思があり、家族も長い命ではないなら好きな物を食べさせてから終わらせたいと相談されました。

点滴を外してもらい、宅老所に入居され、ゆっくり、柔らかいものを口から食べることにしました。2ヶ月程の入居ですっかり元気になり、自宅に戻ってからは、週3日のデイサービスに切り替えました。

それから1年半、100 才を過ぎてもなおデイでの入浴を楽しみに通ってくれました。11月14日のデイでは一寸体調が悪いようで、早めに帰宅しましたが、次の日家族から眠るように静かに息をひきとりましたと連絡がありました。

人は口から食べ、楽しいことを見つけると、生き生きと暮らすことが出来て、枯れるように逝くのだと感じました。

スタッフ一同よい勉強をさせていただきました。



通所利用者
入居者
大募集！

住所 〒424-0841 静岡市清水区追分 3-5-17
電話番号: 054-367-2878
FAX: 054-367-2884

編集後記★

日に日に寒くなって来ました。
風邪は万病の元！気をつけましょう！

発行責任者 藤下 品子
三浦 香織

特定非営利活動法人 泉の会

介護ホーム「わたしのうち」

平成30年12月 102号

『自宅ですっと』～在宅医療・介護連携推進事業～

市と地域包括支援センターが連携して開催する地域の検討会を通して、地域における在宅支援体制の構築を図り、自宅での療養を望む本人や家族の安心感醸成を目指す取り組みです。

目的は、後期高齢者人口の増加に伴い、高齢者が医療・介護が必要となっても住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう支援体制を構築するものです。

地区ごと「自宅ですっと」ミーティングを4回にわたり、グループワークを行い、住民の支え合いなどについて検討し、情報を共有するものです。入江地区では11月7日に2回目を行いました。

私達「泉の会」は、30年前の発足当時から「住み慣れた地域でいつまでも暮らす」をテーマに活動してきました。

介護ホーム「わたしのうち」は、自分達が利用しても良いと思う場所にしたいと、デイサービス、宅老所、居場所など作ってきましたが、一般的には「困ったら施設へ行けばよい」という考えが強いようです。

県も「自宅で最期まで」を推進するよう、多くの企画をしています。



『こども^ちっ家』

「ただいま～」「おかえり！」

「ねえねえ、これ見て！見て！」「おお！すごいね！」

平成 29 年 8 月からスタートした『こどもっ家』の活動は、1 年が経過し、徐々に子ども達、大人達にとっての居場所になっています。20 人分作った大鍋のカレーを完食することもたびたび！笑顔と食欲に（笑）あふれています。

春に誕生した最年少の参加者（赤ちゃん）も 6 ヶ月、笑顔いっぱい
で周りの子ども達をお兄さんお姉さんにしてくれます。去年の 1 年生も今年
は 2 年生になり、新しい参加者にいろいろなことを教えてくれる大先輩
になっています。家族以外の人と過ごす機会の少ない現代の子ども達が、
スタッフと一緒にスーパーに行き、買い物をしてきたり。家では見せない
ような、ちょっぴり背伸びした、そしてものすごく優しい行動を見せて
くれています。

そんな子ども達の成長を肌で感じながら、スタッフである大人達も
大きなエネルギーを頂いています。



宿題は遊ぶ前に終わらせます。
わからないところは、スタッフと
一緒に考えます！

牛乳パックをどれだけ高く積めるか！



「寄ってっ亭」の前を通りかかる度に声をかけてくれる男の子、道端で声をかけてくれる女の子。年の差 60 才…??の知り合いが出来たことは、大きな喜びです。

子ども達や保護者の皆さんにもちょっとした変化があるようです。違う学年の子ども同士が学校の廊下ですれ違ったときに「次のこどもっ家行く？」と声を掛け合ったり。子育てに一生懸命頑張ってるママ達がほんの少し肩の荷が降りるような場所になっている…なんて声を伺ってます。嬉しい事です。

『こどもっ家』は、いつでもウエルカムです。人と遊ぶのが大好きな人、ちょっと疲れちゃったから子どもを預かってほしいママさん、出来ることならお手伝いして下さるとい方、大歓迎です！見学も大歓迎です！（^-^）/

船越堤公園へ。



長縄跳びもおじちゃん先生の指導で、
もっと上達しました！



広い公園で、体一杯遊びました！